表紙の解説

題名：きずな　作者：横山 久義

ロウ原紙でヤスリ製版にこだわってきた私、今回は「水墨画」風の色合いでまとめてみました。（これは表向きで、実は色数を少なくした体力温存の省エネです）

1、原画（73 × 103cm）を 10% に縮小。

2、ロウ原紙に魚の図柄を製版、墨色で刷る。
製版ヤスリは絵画 A･B です。特に大きな魚の背中は絵画 A を 10 度交差で「モアレ」効果を狙いました。右上の「イソギンチャク」風は絵画 B を裏から製版してフアフア感を出しました。

3、コロジオン原紙で製版、朱色で刷る。

4、上記の版をそのまま利用。バックを製版、ビクトリアグレー色で刷る。

＊3回刷り（ロウ原紙 1 版 1 回刷り。コロジオン原紙 1 枚 2 回刷り）

5月号の表紙は末廣さんです

4 月の研究会 予定

日時：4月 11 日(日)　会場：初台区民会館

◆午前の部（10：00 ～ 12：00）

1. 横山さんの 4 月表紙制作プロセス解説
欠席のため黒川が代理解説します。
2. 第 32 回孔版画展について (1)

◆午後の部（13：00 ～）

1. 講習：タンポによるボカシ（担当：坂本）
油紙やステンシルシートを使って、タンポを利用したボカシ手法を公開します。
・各自持参：印刷道具一式、コロジオン原紙 3 枚、はがき枚数自由
2. 第 32 回孔版画展について (2)

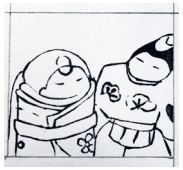
5月の講習担当は黒川（英）さんです

完成作品

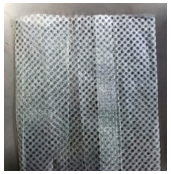
3月の研究会 報告

◆午前の部（10：00 ～ 12：00）

1、3 月表紙制作プロセス解説（三井）
カッティングや思うような色がでず苦労した話やバックに使用した三角コーナーネットの現物公開。


下絵

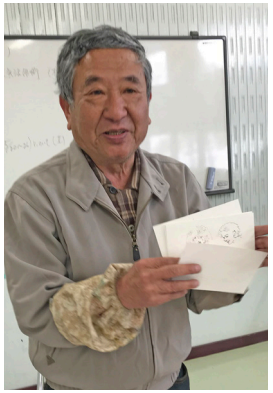
イメージ着色


三角コーナーネット

2、第 32 回孔版画展について　裏面へ

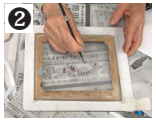
◆午後の部（13：00 ～ 15：00）

1、講習：コロジオン原紙の骨の髄までしゃぶる（担当：松本）
コロジオン原紙の使い方が書かれた資料の配布と解説があり。手順を追って実演をし、続いて皆さんが作業を開始しました。1 版 5 回刷りの中に、鉄筆で物理的な製版や描き液での化学的な製版。さらに、ボールペン原紙を手でモミモミしたり多くの技法を真剣に取り組みました。



❶

版展幕にコロジオン原紙を貼って、下絵の上に透明ヤスリなどを置いて、鉄筆でカリカリ製版＆刷る。
別にマスキングの為に、アート紙に刷る。


❷

❶を洗浄後、描き液で濃い茶を製版＆刷る。

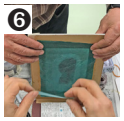
❸

❷を洗浄後、描き液で薄い茶を製版＆刷る。

❹
マスキングの猫のみ切り抜き、コロジオン原紙の裏に貼る。

❺

❸を洗浄後、❹のマスクを貼ってから、描き液でバック（ピンク）を製版＆刷る。


❻

❺を洗浄後、ボールペン原紙をモミモミしたモミ紙をコロ原紙の裏に貼る＆濃いピンク刷る。